

CO・OP × **SDGs(持続可能な開発目標)**について考えてみよう

いま、地球は様々な問題を抱え、持続可能ではなくなっています！

例えば…

- **世界で約8億人(9人に1人)**が必要な食糧を得られず、飢餓に苦しんでいます。
その一方で、日本の食品廃棄は年間**632万トン**。日本人一人当たりで換算すると、お茶碗約1杯分(約136g)のご飯を毎日捨てているのと同じ量になります。
- **世界では1.5億人以上(子どもの10人に1人)**が児童労働に従事しています。
私たちが日々利用している家電製品やその素材が、児童労働によってつくられたものかもしれません。
- **地球上の生物の約3割**が絶滅危惧種になっています。
私たちが利用している商品が、森林伐採や自然破壊などで生き物たちを絶滅に追いやっているものかどうかを、私たちは確かめられません。



このままではいけない！

未来に向けて「持続可能な開発目標(SDGs)」と「コープSDGs宣言」の採択

「持続可能な開発目標(SDGs)」とは

2015年9月、国連で「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。SDGsは、未来にわたって地球と社会が望ましいかたちで持続できるよう、2030年までに実現すべき課題を17つの目標として表現したものです。これらの目標は、貧困・飢餓などの経済的問題や、差別・不平等といった社会問題、そして地球温暖化や生物多様性など環境問題の統合的解決を、先進国と途上国が一丸となって目指すものです。

特別アピール「コープSDGs 行動宣言」

生活協同組合の理念や活動と重なっていることから、SDGsの主旨に賛同し、2018年6月の日本生協連通常総会にて「コープSDGs 行動宣言」を採択しました。

【コープSDGs 行動宣言】

1. 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直していきます
2. 地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します
3. 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します
4. 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します
5. ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します
6. 誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します
7. 健康づくりの取り組みを広げ、福祉事業・助け合い活動を進めます

持続可能な開発とは

持続可能って？

- 今、自分のまわりのことだけではなく、未来のみんなや地球も今みたいに暮らせるということ

開発って？

- 十分に食べられなかったり、学校に行けなかったり、病気でも病院に行けなかったり、住んでいるところがとても危険だったり、暴力をふるわれたり、自由に意見が言えなかったりすることをなくして、みんなが安心して、自分の能力を十分に発揮しながら満足して暮らせるようにすること

「持続可能な開発」って？

- 将来の世代のための環境や資源を壊さずに、今の生活をよりよい状態にすること
- 資源をすべて使ってしまう、未来の人々に何も残さない開発は、持続可能ではない



17の持続可能な開発目標(SDGs)と生協の取り組み

1 貧困をなくそう  ●ユニセフ支援活動 ●フードバンク ●生活相談・貸付事業	2 飢餓をゼロに  ●WFP 学校給食プログラム支援	3 すべての人に健康と福祉を  ●福祉事業 ●介護食品の供給 ●ピンクリボン運動支援	4 質の高い教育をみんなに  ●食育 ●消費者市民社会づくりの活動実施	5 ジェンダー平等を実現しよう  ●男女共同参画に向けた取り組み	6 安全な水とトイレを世界中に  ●コアノンスマイルスクールプロジェクト
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  ●再生可能エネルギーを作り、使い、ひろげる取り組み	8 働きがいも経済成長も  ●ワークライフバランスの強化 ●健全な経営	9 産業と技術革新の基盤をつくろう  ●リサイクルセンターの設置など、3R活動の推進	10 人や国の不平等をなくそう  ●ユニセフ支援活動 ●フェアトレード	11 住み続けられるまちづくりを  ●こども食堂 ●地域見守り活動 ●買い物弱者支援 ●被災者支援活動	12 つくる責任 つかう責任  ●産直事業 ●環境配慮型製品の開発と普及 ●エシカル消費推進
13 気候変動に具体的な対策を  ●事業での温室効果ガス排出削減 ●家庭での削減啓発	14 海の豊かさを守ろう  ●海洋環境配慮型製品の開発と普及(MSC、ASC等)	15 陸の豊かさを守ろう  ●森林環境配慮型製品の開発と普及(FSC、レインフォレストアライアンス等)	16 平和と公正をすべての人に  ●ヒロシマ・ナガサキのピースアクション ●沖縄戦跡基地めぐり	17 パートナリシップで目標を達成しよう  ●協同組合間協同 ●地域団体、NPO、行政、自治体等との連携	

生協は、助けあいの組織として、誰もが笑顔で暮らすことができ、持続可能な社会であることをめざしてきました。誰も取り残さないというSDGsが求めるものは、生協の理念と重なり合っています。

コープあおもりも持続可能な開発目標(SDGs)に取り組んでいます



「CO・OP×レッドカップキャンペーン」

コープは国連WFPの「学校給食プログラム」を支援しています。対象となるコープ商品を1点お買い上げいただくごとに1円が国連WFPに寄付され、支援先の子どもたちに学校給食を届けるために使われます。日本生協連は、このキャンペーンを2014年から開始し、2017年度の募金総額は515万9,013円となりました。



「コアノンスマイルスクールプロジェクト」

CO・OPコアノンロールやCO・OPワンタッチ芯までロール(トイレトペーパー)を1パックお買い上げいただく度に、アンゴラ共和国の「子どもにやさしい学校づくり」のために1円が募金されます。第8期(2017年11月1日~2018年10月31日)の募金額は、1,091万825円でした。



「沖縄戦跡基地めぐり」

「日本の平和、世界の平和を願って」コープあおもりでは毎年「沖縄戦跡基地めぐり」に、組合員を派遣しています。沖縄戦の体験談を聞いたり、沖縄の基地を見る事で、平和の尊さを広める活動をしています。2018年は、3月28日から30日、コープあおもりから4名派遣する事ができました。(週刊版ニュース No 608号より)



その他にも、コープあおもり、各地域でいろいろな事に取り組んでいます。

世界を変えるための壮大な目標であるSDGs、達成には一人ひとりが「自分事」と捉えて、日々の生活や意識を変えることが不可欠です。